

湯浅美和子の市議会報告

市民ネットワーク 街づくり通信

No.59

発行：市民ネットワーク
編集：市民ネットワークみはま 〒261-0004 千葉市美浜区高洲3-11-3 並木ビル2F TEL・FAX 278-5005

ホームページ <http://www.chibanet.jp/mihama/> <E-mail> mihama@chibanet.jp

ちょっと待った！指定管理者の選定 — 市民ゴルフ場 —

6月議会
(6/5~24)



湯浅 美和子

若葉区に10月オープン予定の千葉市民ゴルフ場の指定管理者の選定は、3月議会に上程されたものです。しかし、公募で選定された千葉市民ゴルフ振興共同企業体が、提案書の中で協力団体としていた日本プロゴルフ協会(PGA)から、記述の訂正を求められる事態となり、議案が撤回されたいわくつきのもの。

今の時代に30数億円をかけ「公共ゴルフ場」を作ることに疑問もあります。千葉市民のごみを長年埋め立ててきた場所として、地元で還元できる跡地利用が求められるという事情もあります。

再選定にあたり選定委員会は、評価項目の中でPGAの『全面的

協力』が得られるとしていた記述を削除し、評価に影響する項目について採点の下方修正をしたものの、当初の順位に変動はなかったとのこと。

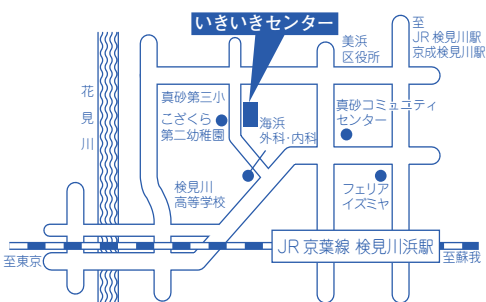
しかし、共同企業体に悪意があるうとなかろうと、提案書の「PGAの全面協力」という記載は虚偽に当たる疑いは残り、失格とすべきではなかったか。百歩ゆずって「悪意はなく、虚偽にあたらな

い」としても、提案書を選定委員会が勝手に修正をして採点し直すなど、指定管理者制度のルールからもあつてはならないこと。

すべてを白紙に戻し、透明性が確保された上で選定をやり直す必要があつたと判断し、議案に反対しました。

真砂いきいきセンター 来年1月オープン予定

真砂4丁目の公団の敷地内に、千葉市で8か所目(美浜区では初めて)となる「いきいきセンター」が設置されます。みはまネットのメンバーで高齢施設課に話を聞きました。この施設は、地域の高齢者の健康づくりや生きがい対策施設として、各区に2か所ずつの整備をめざし、介護予防のための通所事業や、相談事業、講座等が行われます。現在この施設を管理運営する指定管理者の公募が行われており、10月に選考されます。利用を高めるため地域住民への十分な周知を求めました。



安心の出産へ

これまで区役所、市民センターでも交付されていた母子健康手帳が、今年4月から保健福祉センターでの交付となりました。手帳交付時に、保健師さんが、妊娠中の健康管理や母子保健サービスの内容などを丁寧に説明し、安心して出産育児に取り組む環境を整備するためです。また妊婦健診の公費負担回数も、今までの3回から5回へと増えました。

助産所を利用したいとの要望も寄せられています。現在のところ千葉市では、妊婦健診項目や診療単価を県内統一で医療機関と契約していることを理由に、助産所での定期健診には公費負担を利用できません。今後の利用に向け、関係機関に働きかけて早期に実現するよう求めました。

自転車プロジェクトが再スタート

自転車は市民にとって身近で環境にも優しい乗り物です。ただ、放置自転車は街の美観を損ね、歩行者特にお年寄りや身体の不自由な方にとって大変危険です。最近では、自転車と歩行者との接触事故が多く、自転車通行マナーの啓発が急がれています。みはまネットではこれまでも自転車チームが、放置自転車の実態や他市の違法駐輪対策などを調査して議会で提案して来ましたが、その活動を継続し、新たな問題に対処するために「自転車プロジェクト」として再スタートさせました。

まだまだ多い違法駐輪

6月には検見川浜、稲毛海岸両駅駐輪場とその周辺を見学、駐輪場管理会社に話を聞きました。千葉市ではこの4月から駐輪場の利用料金体系が変わり、駅に近い所は高く、遠い所や立体駐輪場3階は安くなり、(1600円〜4000円/月)混雑が緩和されました。

しかし、両駅とも収容台数に対して利用台数が下回っているのに、歩道などに放置されている自転車がまだまだ多いのが現状です。

市の基本方針が見えない

管理の現場では警告の札をつけた後どうするのかなど、苦慮しています。安い駐輪場で契約して高い駐輪場に止める人への対処などについても、市が明確な基本方針を示す必要

要があると思ってきました。調査から見えてきた事

検見川浜駅では、真砂側の放置自転車が磯辺側の約5倍、真砂側にもやはり駐輪場の整備を検討する必要があります。

磯辺側の平面式駐輪場は多くの自転車が強風で倒れやすく、自転車の間に将棋倒しを防ぐ仕切りが必要で、前から要望してきましたが、まだ実現していません。

事業者は何を考えているか

駅周辺の放置自転車には買い物客のものも多いので、JR、大型店舗などにも調査を予定しています。

歩行者と自転車、どう共生する？

前回の通信にも載せましたが、市では国のモデル事業として今秋、車道の一部を自転車道にするなどの社会実験を検見川浜、稲毛海岸の駅周辺で行なう計画です。

(幸町・大西宏子)



検見川浜駅駐輪場にて

自転車プロジェクト “こんな活動しています” ご参加・ご意見お待ちしております 土地プロジェクト

公共用地は貴重な市民の財産

美浜区は、県の企業庁と千葉市が海を埋め立てて街づくりを行いました。そのため、すべてが市街化区域であり、今残されている未利用地はそのほとんどが県・市・国などの土地です(地図参照)。商業地域、業務地域、住宅地域と明確に分かれ、びっしりと建設物で埋められた美浜区は、人口構成や社会変化に応じて柔軟に対応できるようにには都市計画されています。

行財政改革を求める声は高いが

自治体財政が悪化する中、行財政改革のひとつとしてこれらの公共用地が最優先で民間に売却されていますが、果たしてそれでいいのでしょうか？市民の税金を投入して整備した土地が民間に売られ、マンションだけが林立するようになれば、これから必要となる保健や福祉、市民活動などのための場所がなくなってしまう。そのことは美浜区に住み続けたいとの市民の願いに逆行することになってしまいます。実際に高齢者医療施設を作ろうとしたがあまりに土地が高くて断念した、という声もよせられています。

公共用地はどこにある？

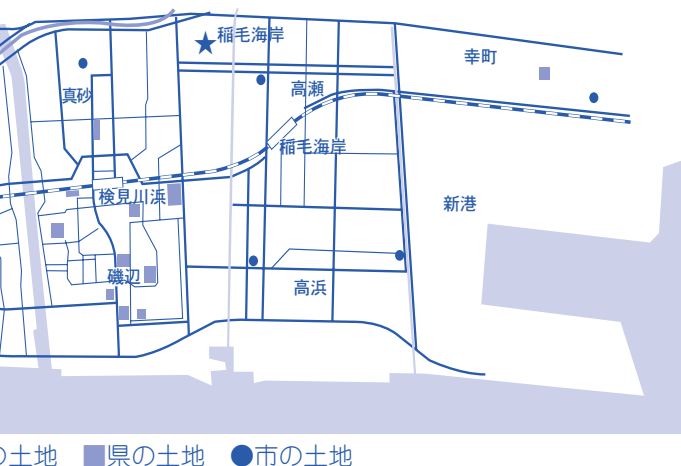
そこで、私たちは残った公共用地について調べるところからはじめました。市と県に公共用地の

ストを出してもらい、地図に落とししました。暫定的に運動ひろばやテニスコートとして市民に使われているところもありました。

公共用地の処分に市民の声を

稲毛海岸では国の公務員住宅が高層化され、残りが売り出されることになりました。この7月には国から正式に市と県に買取の依頼が行われたところ。今のところ、市も県も一括して買い取る余裕はなく、民間に売却され住宅になる可能性が高いといわれています。

公共用地の処分にもっと市民の声を反映させていくための仕組みが必要です。(磯辺・岩橋百合)



みはまだより



転機を迎えたベイタウン

打瀬地区（幕張ベイタウン）では、新しい街ならではの新しい取り組みを住民が試みようとしています。

ベイタウンは、分譲マンションのほか、都市再生機構と県住宅供給公社の賃貸マンションで構成され、一部を除き土地所有者が千葉県企業庁というのが基本でした。

それが、平成24年度末予定の企業庁解散に向け、道路・公園などの公共施設は千葉市に全て移管されるなど、街としてのひとつの転機を迎えることとなり、ベイタウンの公共施設を含む、街全体の管理のあり方を官・民が一緒になって考えようと「管理運営機構」なる組織の立ち上げを住民及び関係機関で検討し始めたところです。

例えるならば、ベイタウンをひとつの大きなマンションに見立て、1つの街区を1戸の住宅に、道路や公共施設を共用部分に、と見方を変えると、管理組合がマンションという資産をみんなで維持管理しようとするのと同じようなイメージといえわかりやすいでしょうか。

現在は、その機構の中核となるであろう住民の意思決定機関「住民協議会」の設立準備を、ベイタウン内の管理組合等に呼びかけて進めており、さらに熱意のある住民有志による作業部会にて具体的な検討を行っています。

(打瀬・樺田直樹)

生活みつければ

政治

県議会報告

県議会議員 大野ひろみ

残土のキュウリで「ザンドイッチ」？

6月27日、年に一度の「議会質問30分1本勝負」を行いました。

メインは、美浜区では起き得ない残土問題です。今、南房総では残土の埋立てが次々と県により許可されています。残土には産業廃棄物や汚染土壌が混じっていることが多く、環境破壊・地下水汚染・健康被害を懸念する住民との間でトラブルが後を絶ちません。

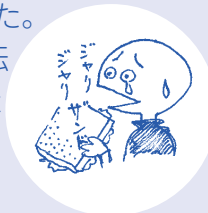
今回質問した木更津市の「かずさ風の丘」は、大規模農場を造成するという名目で、東京ドーム2個分の残土で山林を埋め立てるもの。資本金わずか15万円の業者が、総事業費12億円、10年先にはハウスのキュウリを年間1,500トン、売り上げ4億8千万円を見込むという夢のような計画です。しかし、残土埋立てで業者は13億円手に入れます。そのままオサラバすれば丸儲け。農地造成を隠れみのにした新たな残土事業ではないか、また、残土で作ったキュウリなど売れるわけがないと厳しく指摘しました。

このほか、ハツ場ダム、農薬による化学物質過敏症、遺伝子組換え作物、警察による少年えん罪事件を取り上げましたが、いずれも県の答弁は「はぐらかし」のオンパレード。

詳しくは議会録画をぜひごらん下さい。

千葉県議会議会中継 平成20年6月27日(金) 一般質問

<http://www.pref.chiba.jp/gikai/chukei/rokuga/movie/20806/062703>



市政相談日
毎週木曜日
10:30~16:00



お気軽にご相談下さい。





活動報告 **8月まで継続!**

後期高齢者医療制度の廃止を求める署名活動
—おかしそ!の声を国にアピールしよう—

表向きは75歳以上の高齢者の医療を確保するため、実は増え続ける医療費の削減が目的の「後期高齢者医療制度」が4月からスタートしました。開始当時から月額1.5万円以上の年金からの保険料天引き、扶養者だった高齢者からの保険料徴収、主治医による診療の定額制の導入(6,000円)など、さまざまな問題が噴出しています。さらに2年ごとに保険料が改定され、2015年には厚生労働省の試算では1.4倍になるそうです。

これに対し政府与党は保険料軽減措置の拡大などでしのごうとしますが、そもそも医療費10兆円、公共事業費50兆円という偏った税の使い方の徹底的な議論をし、福祉の向上に向けてシフトしていくべきです。

一度廃止した上で安心の医療制度を作っていこうと、市民ネットワーク千葉県では県内各地で署名活動(第1次集約3,800筆)を行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。さらに夏の臨時国会に向けて署名活動を継続していますので、ご協力いただける方はみはまネット事務所までお問い合わせ下さい。(TEL 043-278-5005)



署名活動継続中です

*署名用紙は市民ネットワーク千葉県のホームページからもプリントアウトできます
 市民ネットワーク千葉県
<http://www.ken-net.gr.jp>

いんふおめーしょん

お問い合わせはみはまネットまで
 TEL・FAX 278-5005

声を出そう!
「読みカフェ」

毎月第3水曜日14:00~
 みはまネット事務所
 参加費100円
 今回は8月20日

出前議会報告会

千葉市議湯浅美和子が伺って、わかりやすく議会報告をいたします。
 個人宅でもファミレスでも2、3人からのグループでかまいません。
 お気軽にお声かけ下さい。

予算要望書に
皆様の声をお寄せ下さい

市民ネットワークでは毎年秋、来年度の予算編成への「要望書」を知事・市長に提出しています。多くの市民の皆様の建設的な要望や提案を予算要望作りに反映させています。どうぞ皆様の声をお寄せください。(電話・FAX・メールでもお受けしています。)

裁判員制度学習会

8月29日(金)18:00~
 市民ネットワーク千葉県
 4階会議室

恒例!
ネットふれあい市

毎月第4土曜日
 10:00~14:00
 今回は8月23日(土)
 真砂中央ショッピングセンター
 出店申込み受付中

net ネットです

市民ネットワークちばは1990年に誕生。現在千葉市議会に6人、県議会に1人議員を送り出し市民の声を議会に届けています。

市民ネット3つのルール

- ・議員は市民の代理人、原則2期で交代
- ・選挙はカンパとボランティアで手づくり
- ・議員報酬の多くを市民に必要な政策活動費に

STOP! 格差社会!

こどものひろば

9月7日(日)
 13:00~16:00
 高洲コミュニティセンター隣
 主催:みはま子育て
 ミニフォーラム